背肉鶏

Lv 9

修

図

司

得意なこと

分かりやすい説明

利用者に対する分かりやすく簡潔な説明・案内。

© 2023 kidahami

なぜ大学図書館員になったのか

子供のころから司書になるのが夢だったが、公共図書館や小中高の司書教諭はポストが少なく、安定した職とは思えなかったので大学図書館ならずっと働けると考えた。さらに大学院に進学し、研究で図書館を使う機会が増えると、学術研究と図書館の不可分なつながりを意識するようになった。

得意(好き)な仕事

メタデータ入力作業やデジタルアーカイブのスキャン作業。単純作業のためアルバイトさんに任せることが多いが、会議資料の作成や利用者対応で疲れた頭を休ませるために、手を動かす作業をしたくなる。

苦手(嫌い)な仕事

教授会、FD、講習会等、大勢の人の前で発表・説明する仕事。

大学図書館で働く推しポイント

大学図書館・図書館業界ではウェビナーなど知識の共有が積極的で、勉強熱心な人が多いように思う。自己研鑽が好きで続けたい人に特におすすめできる。

私が考える2050年の大学図書館

来館(しなければ使えない)サービスはかなり減って、図書館で勉強したい、人と会いたいという、空間を利用したいという人だけが来館するようになる。雑誌や古典籍はデジタル化が進み、どこからでもシームレスに利用できるようになるため、その利用環境(インフラ)が整備されていることは、実験施設が整っていること等と同様に大学選定の基準になるかもしれない。

© 2023 kidahami

no101